

令和4年度中国・四国地区技術職員組織マネジメント研究会報告

工作部門 機械加工技術班 野口 靖祐

1. はじめに（目的等）

中国・四国地区国立大学法人等の技術職員を対象としたオンラインによる研修。組織をけん引する人材のレベルアップを図り、技術班長としてマネジメントに必要な知識等を身に付けるため参加した。

2. 期間・場所

期間：令和4年8月25日～令和4年8月26日

場所：オンライン参加：主催 鳥取大学)

3. 参加者等

参加人数：国立大学法人の技術職員 40名（広島大学技術職員 2名）

4. 研修内容

- ・8月25日 講義Ⅰ オンラインファシリテーション研修(株式会社インソース)
- ・8月26日 講義Ⅱ 大学におけるDX推進の課題と技術部の役割
- 講義Ⅲ 鳥取大学技術部の取り組み
- 講義Ⅳ 米子高専技術職員組織紹介
- 講義Ⅴ 技術職員の将来像について

5. まとめと感想

オンラインファシリテーション研修では、増加するオンライン会議の進行や意見のまとめ方の講義を行った。オンライン会議での、メリット・デメリットの解説やグループディスカッションとロールプレイングを通し実際に議長として会議を進める上での目的・ルール・会議の活性化するための発言や促し方を学び参考になった。

鳥取大学での技術部組織体制の取り組みでは、一般的な役職の管理職と専門職技術職のほかにUTA職(大学の技術職員の視点から組織マネジメントを行う役職)を作り大学内の研究基盤に関する様々な会議等に参加し活動する紹介があり興味を持った。

2日間のマネジメント研究会を通して、これからの組織体制の中で自分自身の役割を考えるいい機会になり、今後の業務に生かして行ければと思う。